

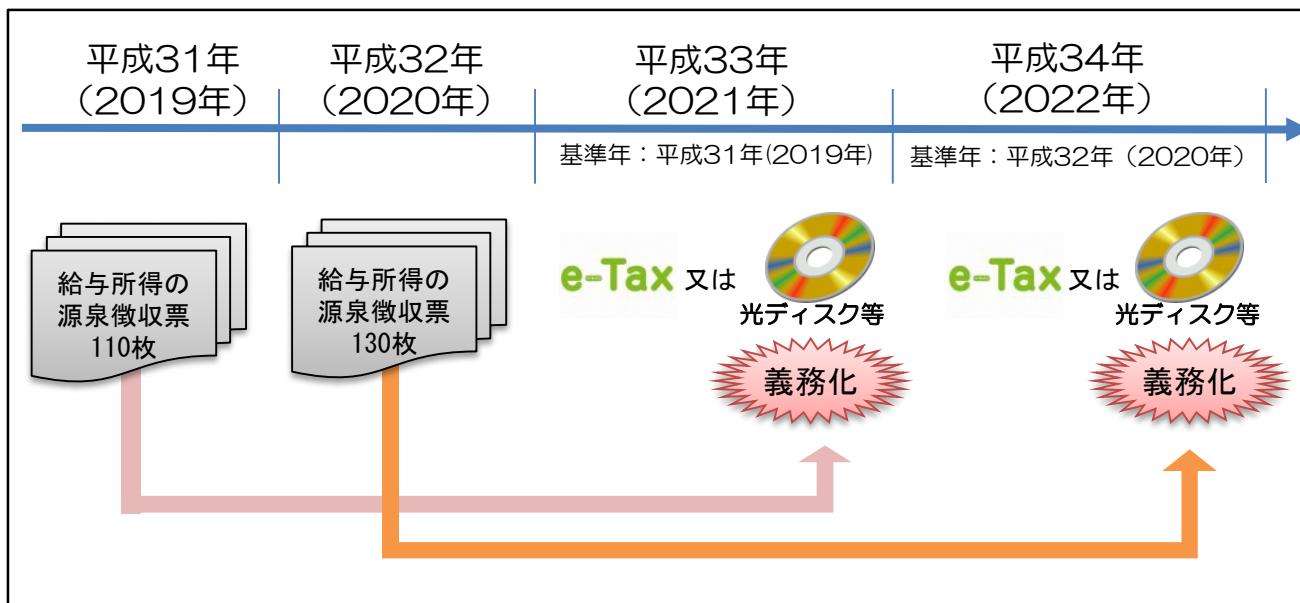
e-Tax又は光ディスク等による支払調書の提出義務基準が 100枚以上に引き下げられました！

【改正の内容】

支払調書の種類ごとに、前々年の提出すべきであった当該支払調書の枚数が**100枚以上**（現行：1,000枚以上）である支払調書については、平成33年（2021年）1月1日以降、e-Tax又は光ディスク等による提出が必要となります。

例えば、平成31年（2019年）に提出された「給与所得の源泉徴収票」の枚数が「100枚以上」であった場合には、平成33年（2021年）に提出する「給与所得の源泉徴収票」は、e-Tax又は光ディスク等により提出する必要があります。

なお、提出義務の判定は支払調書の種類ごとに行いますのでご注意ください。



【留意事項】

- 支払調書の光ディスク等による提出については、国税庁ホームページの「申告・申請・届出等、用紙（手続の案内・様式）」から「法定調書の光ディスク等による提出のご案内」をご覧ください。
- e-Tax又は光ディスク等による法定調書の提出が義務付けられていない方が光ディスク等により法定調書を提出する場合には、税務署への事前の申請と税務署からの承認が必要です。
- 給与所得（及び公的年金等）の源泉徴収票のe-Tax又は光ディスク等による提出が義務付けられた年分については、市区町村に提出する給与支払報告書（及び公的年金等支払報告書）についてもeLTAX（地方税ポータルシステム）又は光ディスク等による提出が義務化されています。